



みんなで探して発見！ 身近な自然

めぐろいきもの気象台
Tel: 03-5722-9359
Fax: 03-3792-2112
〒153-8573 目黒区上目黒 2-19-15
目黒区みどりと公園課みどりの係

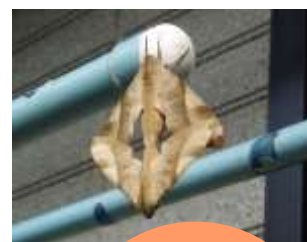
みんなの発見！ 2017 年夏～秋



9 月
ヒメアカタテハ
碑文谷公園にて
(中根二丁目
自然通信員)



8 月 14 日
「家の庭でヒヨドリの
ヒナがかえり
巣立ちました！」
(柿の木坂一丁目
自然通信員)



8 月 5 日
トビイロスズメの
カップルが…
(中町一丁目
自然通信員)



10 月 1 日
ピロウドハマキ
(駒場四丁目
自然通信員)

南国から分布を
広げてきました！



～珍鳥！～
10 月 24 日
アカショウビン
台風 21 号が去った
林試の森公園にて
(下目黒三丁目
自然通信員)

シジュウカラ巣箱モニター

シジュウカラ巣箱モニターにご協力ありがとうございました。今年は 9 個の巣箱で巣作りをし、19 羽以上が巣立ちました！
(写真：巣箱モニターなど)

《観察報告より》親鳥の出入りが始まったのを静かに見守っていて、声をするのを待ちましたが、実際は思っていたよりずっと小さな声だったので、気づいた時にそっと開けたらヒナがいて、卵がかえった時が正確にはわかりませんでした。GW 明けには巣立ってしまい、かわいい姿はほとんど見られませんでした。

8 月 3 日
カラスウリの花
(中目黒三丁目
自然通信員)



壁にぴとっ！

8 月 25 日
イボバッタ
(南一丁目
自然通信員)



《観察報告より》親鳥はヒナが生まれた頃からヒナを守るため、あたりを監視（かんし）して、スズメを近づけないように、つねに鳴き声で威嚇（いかく）していた。

●6 月 26 日：鳴き方がかわってきた感じ、ややしっぺりした声、今まではピョピョか細い声

●6 月 28 日午後 6 時頃：小さな鳥が自宅周辺を飛んでいた



今年も新たに巣箱モニターにご参加いただける方を募集します♪詳しくはめぐろ区報 1 月 15 日号・区ホームページに掲載予定です！



土のいきもの住民会議 速報！

平成 29 年 11 月 18 日
東京工業大学 大岡山キャンパス

大東文化大学 環境創造学部准教授 橋本みのり先生の指導で開催しました。17 名の方々にご参加いただき、ミミズやムカデ、トビムシなど合計で 14 種のいきものを発見しました！「土を豊かにする小さいいきものたちは大切です」と先生。

土採取



キャンパス内にある「ひょうたん池」のまわりで土を採取しました。

いきもの探し



採取した土を少しずつ白いバットに広げ、ピンセットや吸虫管（きゅうちゅうかん）を使っていきものをつかまえます。つかまえたいきものはアルコールに入れて動きをにぶくしておきます。



観察



小さくて観察しにくいものは、シャーレに入れて実体顕微鏡で観察しました。（右写真はヨコエビ）落ち葉や枝などを分解し、土を作るいきものたちを観察することができました。

見つかった！



発見したいきもの

- ・ヒメミミズ類（2 匹）
- ・ムカデ類（10 匹）
- ・ワラジムシ（7 匹）
- ・ヨコエビ（3 匹）
- ・トビムシ類（5 匹）
- ・カメムシ類（1 匹）
- ・キセルガイ類（2 個体）
- ・ダンゴムシ（6 匹）
- ・ゾウムシ類（1 匹）
- ・クモ類（5 匹）
- ・ハサミムシ類（2 匹）
- ・アリ類（3 匹）

イベント情報

『空のいきもの発見隊』の開催が決定しました！

野鳥など空のいきものを調べよう！公益財団法人日本野鳥の会から講師を招き、双眼鏡などの道具を使用しながらバードウォッチングの知識や自然観察のコツなどを学びます。ご家族での参加はもちろん、小学校高学年以上の方も大歓迎です！開催日時や申し込み方法などの詳細は、めぐろ区報 1 月 15 日号・区ホームページに掲載予定です。皆様のご参加をお待ちしております！



屋上緑化のススメ ～みどり豊かな街を目指して～

屋上緑化には、ヒートアイランドを軽減したり、街にいきものを呼んだり多くの効果があるんだ！屋上に土があるだけでも十分に省エネ効果があって、プランターを使った簡単な緑化でも効果は期待できるよ。みどり豊かな街を目指してみんなで取り組んでいこう！

シイ博士



目黒区総合庁舎屋上の『目黒十五庭』

『江戸東京野菜』を収穫しました♪



目黒十五庭では、東京の伝統野菜『江戸東京野菜』を育てています。今年は、内藤唐辛子、内藤かぼちゃ、寺島なす、鳴子うりなどが収穫できました。

目黒十五庭でいきもの発見！



甲虫類の幼虫



コクワガタ



キアゲハの幼虫

屋上緑化助成があります！

- 助成対象（ほかにも要件あり）
 - ・敷地面積が 1000 ㎡未満
 - ・最低 1.0 ㎡以上を新たに緑化（上空から見える部分）※100L 未満のプランターなどによる植栽は対象外
- 助成内容（1 件あたりの限度額：20～30 万）
 - 〈新植栽〉20,000～30,000 円/㎡
 - 〈既存樹木の移植〉1,000～10,000 円/本
 - 〈縁石設置〉1,000 円/㎡
 - 〈自動かん水装置設置〉2,000 円/㎡

実践者にインタビュー

屋上緑化のコツは『無理しないこと』

駒場在住の佐久間さんにお話を伺いました。

一ご自宅の屋上を緑化しようと思われた理由を教えてください。

屋上緑化をすると家の中が涼しくなると考えたからです。もちろん少しでも自然を感じたいという思いもありました。

一屋上緑化をしてよかったことはありますか？

屋上緑化の下にあたる部屋は、夏は涼しく冬は暖かいです。冷暖房費が少なく済んで経済的にも助かっています。

一屋上緑化を管理する上でのポイントはありますか？

夏場の水やりの管理ですね。植物は種類によって必要な水の量が違います。自動かん水装置で定期的に水がまかれるようにしていますが、水を多く必要とする植物にとっては不十分のようです。当初は、畑で野菜を育てていましたが、あるときから畑はやめて、水やりが少なくても大丈夫なブルーベリーなど実のなる木に植え替えました。今では実を目当てに屋上に鳥がたくさんやってきています。

一屋上緑化を検討中の方へ一言お願いします。

屋上緑化のコツは無理をしないことだと思います。皆さんも難しく考えず、屋上緑化にトライしてほしいです。



佐久間さんのお家の屋上緑化



緊急がま調査 たくさんのご報告ありがとうございました！

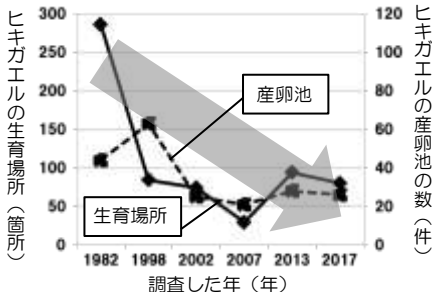
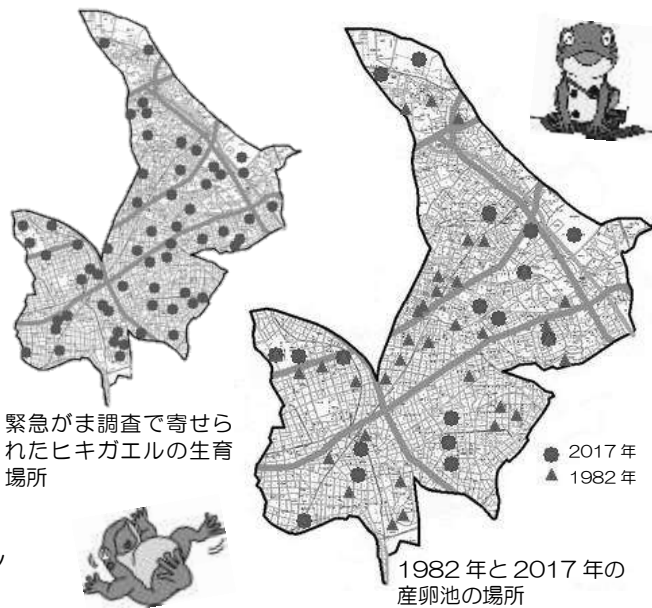
124 件もの観察報告をいただき、産卵池については 26 件の報告が寄せられました。（写真：がま調査より）



土の面で暮らすが
ふだんヒキガエルは土の面で暮らしています。



池で暮らすが
ヒキガエルは家の庭にある池などで卵を産み、卵からかえったオタマジャクシは大人の姿に変わるまで池の中で過ごします。



今回の調査の結果から、駒場地区、自由が丘地区、目黒川周辺などで産卵池が減少していることが分かりました。ヒキガエルの数の減少は土の面や産卵池の減少が原因だと考えられており、上記の地区は特に住宅地での減少などが要因となっているのかもしれませんが。今回報告があった 26 件の産卵池の中には個人宅の庭の池が多くみられました。ヒキガエルは小さな金魚池のような環境でも産卵できます。土の面をできるだけ残すとともに小さな取り組みからヒキガエルを呼び戻すことが重要です。



プラ舟で泳ぐがま
オタマジャクシ

歩もう 野の鳥の歌が聞えるまち 計画紹介その7

身近な自然を守り、いきものたちと共に暮らせるまちを未来に伝えていくため平成 26 年 4 月から推進している『ささえあう生命の輪 野鳥のすめるまちづくり計画(目黒区生物多様性地域戦略)』のポイントを紹介いたします。

●「いきものの庭」の取り組み

1) いきものの庭の設定

個人の庭やマンションの緑地などの民有地や公共施設等の敷地をいきものの庭として設定し、いきものの道により、いきものの生息・生育環境を広げていきます。さらに樹木、草地、花壇、畑、池、屋上緑化などによる多様な環境によるみどりや土の面が目黒区全域に広がり、まち全体にいきものとのふれあいの場が実現することを目指します。

2) 取り組み内容

個々の敷地ごとの緑化や樹木の保全・創出、屋上・壁面緑化等による民有地の緑化を推進するほか、公共施設や公園等の整備・改修により多様なみどりの量を増やし、質を向上します。

- ・保存樹木等の指定や樹木の保全協議制度による樹木等の保護
- ・建築時の緑化計画制度における緑化の推進
- ・緑化助成制度等による接道部や建築物緑化の推進
- ・角田市からの苗木による植樹運動
- ・樹名板やいきものプレートの設置
- ・緑化の普及啓発や環境学習の推進等 …など



水辺のある庭の例

めぐろいきもの气象台

いきもの	観察日	観測地・観察のようす
カネタタキ	8 月 8 日	16 時 30 分頃。カネタタキの鳴き声を確認しました。（碑文谷 2 丁目自然通信員）
ハギ	9 月 4 日	花が咲きだしたのを見ました。（碑文谷 2 丁目自然通信員）
オオスカシバ	9 月 16 日	碑文谷の環七と目黒通りの交差点にいた。緑色に黄色と黒の縞模様でした。（自然通信員）
ナナホシテントウ	10 月 15 日	自宅にて。ナナホシテントウが帽子についてきました。（東が丘 2 丁目自然通信員）
タヌキ	11 月 17 日	山手通りのすぐそばに 2 匹もいるとはびっくりしました。（中目黒 3 丁目自然通信員）

★いきもの調査は、無理をして探しに出かけなくても、日ごろの生活の中で出会ったものをお知らせいただいております。

みどりの活動紹介～楽しい公園施設にお出かけください

駒場野公園自然観察舎と中目黒公園花とみどりの学習館からコラムが届きました！

今回のテーマは、『土のいきものの世界』です。公園にはどのような土のいきものの世界が広がっているのでしょうか。

知られていない身近な世界

『この地球上には「地底人の住む地下都市がある」といった都市伝説を聞いたことはありませんか？

ふだん何気なく通り過ぎる足もと、とくに落ち葉のつもった柔らかい土には、多種多様ないきものたちが独自の生態系を築いています。昆虫から始まり、クモ、ムカデ、ダニ、ダンゴムシ、ミミズ…。キノコや粘菌、微生物も土のいきものと言ってよいでしょう。まだまだ人に見つかっていない未知のいきものもたくさん存在する土の中は、まさに地下都市なのではないでしょうか。（駒場野公園自然観察舎 問電話 03-3485-1754）



いきもののうんちは、栄養たっぷりの肥料に

土の中は、目に見えないけれど、多くのいきものががすんでいます。落ち葉や枯れた植物は、いきものの食べ物となり、いきもののうんちや死骸は、植物の栄養になります。中目黒公園は、公園にすむ鳥、昆虫、植物などのいきものの生命の循環を大切に、「循環型園芸」というお手入れを行っています。花壇の土を掘ってみると、ミミズや、ダンゴムシ、コガネムシの幼虫がいました。土の上や中で生活し、落ち葉や枯れた植物をたくさん食べて、良い土を作ってくれる大切ないきものです。植物は、料理やクラフトの材料として暮らしに役立ち、枯れた枝葉からは堆肥をつくり、豊かな土を育みます。

（中目黒公園花とみどりの学習館 問電話 03-5721-0871）



現在調査中のいきものたち

ウグイスの初音

ヒキガエルの産卵池

ユリカモメ

冬のカモ

つくし

…など

お知らせいただく項目

- いつ
- どこで
- なにを見た
- ようす・メッセージ

めぐろのいきもの 80 選



みどりの散歩道 コースガイド



目黒区いきもの住民台帳 「目黒区の野鳥」「目黒区の蝶と蛾」



『目黒区いきもの住民台帳』は自然通信員や、区などの行った専門調査の結果を、目黒区に生息・生育するいきものの種名リストとして集計したものです。目黒区総合庁舎 1 階区政情報コーナーにて 1 冊 300 円で販売しています。また、区立図書館や目黒区 HP でも内容をご覧いただけます。

いきもの観察や散歩のお供にいかがですか。

『めぐろのいきもの 80 選』（1 冊 400 円）と『みどりの散歩道 コースガイド』（1 セット 300 円：4 月に新版になっています）は、目黒区総合庁舎、自然観察舎、花とみどりの学習館、目黒区書店商業組合加盟の書店 9 店舗などで販売しています。

- いつも観察情報をありがとうございます。いただいた情報は、貴重な記録としてパソコンに集約しております。紙面の都合上全部をご紹介できないことをお許しください。
- 調べるいきものたちのパンフレットをご希望の方は、係までお申し込みください。
- いただいた写真等は、通信員だよりのほか区発行の印刷物に使用することがありますのでご了承ください。
- 通信員をおやめになりたいときや、転居のとき、お名前の誤りなどはお電話等でご一報ください。
- 観察情報や写真は郵便・FAX・Eメール（sizen@city.meguro.tokyo.jp）でみどりと公園課までお送りください。お写真をいただくと、種類を見分けるのに役立ちます。
- 通信員だよりはホームページからダウンロードできます。発行時にはメールでお知らせすることもできます。通信員だよりの郵送が不要の方は、上記のメールでご連絡ください。